もりや仙一郎県政報告

Vol.123

「猟友会頼み」の警戒活動

日本各地で〝災害級〟クマ被害

松田光也猟友会天童支部長

日本各地で〝災害級〟ともいわれるクマの被害が多発し、社会を揺るがしています。クマの餌となるブナ、ドングリの実などの大凶作が原因とされ、餌を求めて山を下り、人里で農作物を荒らすなどの被害が発生しています。

人的被害も深刻で県内では13人（11月25日付け）もの人が被害に遭いました。

そんな中、「猟友会」の皆さんに期待する声がますます大きくなっています。

猟友会は本来、猟期に入ってから狩猟を楽しむ人々の団体であり、さんが担っています。

鳥獣を駆除することは目的とは異なります。現在、猟友会には毎日のように自治体からクマの目撃情報の連絡が入っており、その対応に追われています。

山形県猟友会天童支部の支部長は、前天童市議会議員の松田光也

クマ対策の出動の際には松田支部長が会員に集合をかけ、集まった人々で班を組み、警戒活動を行っています。

会員の皆さんは会社員や自営業など、日中仕事をしている人が多く、招集に応えられる会員の多くは現役を引退した人や高齢者が中心です。

猟友会として期待に応えたい気持ちが強いものの、参加する会員の現状や行動の幅に制限がある中での活動となっています。行政はそんな背景を知っていても、市民ともども猟友会に頼るしかない現状です。

命がけのクマ捕獲

「使命感のみで対峙」

猟友会の会員の皆さんとともに、天童市内でクマの捕獲・駆除に立ち会わせていただきました。箱わなにかかったクマ1頭に対して、その日に立ち会った猟友会会員は7人でした。私は危険のないよう、当然距離を取って見学しましたが、仕留めるまでの一連の作業は「命がけの作業」だと感じました。

猟友会の皆さんは市民からの期待を背負い、まさに「使命感のみでクマと対峙している」と感じました。当然、皆さんは仕事や家庭を持っていながらの活動ですので、本当に頭が下がる思いです。

今年10月末までの県内での捕獲数は、969頭となっており、天童市内においても37頭を超える捕獲数となりました。昨年の3倍以上となり、捕獲数だけを見てもやはり異常な数です。

猟友会を応援しましょう

クマ被害が後を絶たない緊急時ですが「殺すな」「山に返せ」「免許を取り上げる」などの声が猟友会に寄せられたと聞きます。

市民からの期待が多い中、一部そのような意見もあり、松田支部長も困惑したと言います。被害がある人々もいるなか、懸命に活動されている猟友会に対し、誹謗中傷はぜひやめていただきたいと思います。

会員の減少にもつながりかねないとのことです。

活動に対する報酬 市町村でばらばら

県内にある市町村が猟友会の活動に支払っている報酬などを調べてみました。改めて見比べてみましたが、本当にばらばらな報酬で驚きました。まず、クマ・イノシシなどを捕獲した場合の報酬ですが、天童市の場合はクマ1頭に1万円、イノシシ成獣1万3000円、同幼獣8000円です。なお、イノシシ成獣においては、国の鳥獣被害防止対策総合交付金として7000円が加算されます。また、そのほかの活動費（見回りなど）として1時間1000円を支給しておりますが、市では「今後見直す」とのことです。

前段でも示した通り、捕獲は最低5～8人で行いますので、決して高い報酬とは言えません。猟友会の使命感に尽きると思います。

で、現時点ではクマ対策は猟友会頼みとなっている点をご理解いただきたいと思います。

国道48号の強靭化へ

仙台市議会議長と面談

野田譲仙台市議会議長（右）と意見交換

9月定例会予算特別委員会において、国道48号の整備について県土整備部長に質問し、「国道48号の強靭化に向けた調査検討の早期着手を政府に働きかけていく」との答弁をいただきました。私は、隣接する仙台圏との交通インフラは極めて重要と考えており、今回の部長の答弁は前に進む答弁と考えます。

そんな中、私は野田譲仙台市議会議長との意見交換に伺いました。国道48号は政令指定都市である仙台市の財政負担となります。私は、野田議長に対して「国道48号整備促進議員連盟」の設立に対してご理解ご協力をいただきたいとお願いしてきました。

野田議長からは、「宮城県においても、重要な国道48号です」と言っていただき、議員連盟設立に向けて前向きなご意見をいただきました。山形県議会、仙台市議会共に整備に向けて頑張っていきます。

山形県

クマ「緊急対策費」計上

9月補正に続き2回目

県はクマ対策として9月補正で3800万円の予算を執行しました。しかし、クマの出没が止まらず、12月定例会を待たず、11月に5300万円の先決処分を実施しました。県管理の河川における藪の刈り払いや、遊休農地にある不要な果樹の伐採の支援などに充てられます。

そのほかにも県内各地域に専門家を派遣し、クマ対策における研修会の実施や、猟友会、市町村職員に対して装備品の支給などがあります。

私は、山形県猟友会と天童市猟友会の2団体の顧問を務めております。その役職もあり、自称「クマ議員」として強く意見要望を行ったところです。

市街地での「緊急銃猟」

クマの目撃情報が頻発する中、市街地などでクマが出没した場合、市町村長の判断によって駆除を可能とするのが「緊急銃猟」です。実行にあたっては、近隣住民の避難や付近の道路を通行止めにするなど、人々の安全確保が前提となります。

猟友会の方からは「住民が避難した後でも市街地では駆除したくない」と安全面を不安視する意見も聞かれました。

山形県議会議員 もりや仙一郎

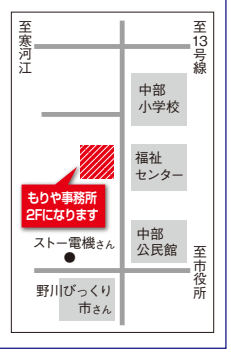
ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログで頂けると幸いです。
こうして欲しい！ ココが問題！ 改善して欲しい…など

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3 丁目 4-17

もりや仙一郎 検索

過去の県政報告はHPでご覧いただけます。 https://www.10016.jp/

facebook 友達登録をお願い致します。

公式ホームページ